

お知らせ 市民全員で災害に強いまちをつくりましょう！

☎ 消防防災課危機管理係（内線2648）

各総合支所総務管理課地域振興係（■ 内線251 / ■ 内線216 / ■ 内線109）

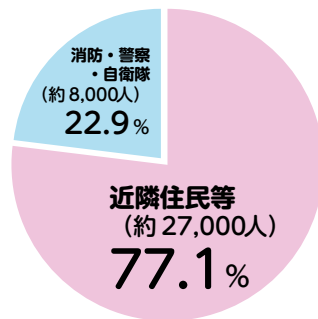
阪神・淡路大震災では、倒壊した家屋などから救出された人の約8割が、家族や近所の人々によって救出されたといわれています。

令和元年台風19号の際も、災害時要支援者への共助や避難所運営などでご協力をいただいております。災害を乗り越えるためには、地域住民の助け合いが不可欠です。



地域の自治会や町内会の活動の一環として自主防災組織を設立し活動することが、災害に強い地域づくりにつながります。未設立の地域は、ぜひ自治会などで積極的に検討いただき、ご不明な点はお問い合わせください。

阪神・淡路大震災における救助の主体と救出者数



出典：令和2年版防災白書

自主防災組織補助金

市では、自主防災組織の活動を対象とした補助金を交付しています。積極的に活用し、地域防災力を高めましょう。

補助対象	補助の内容	補助金額の算定方法
自主防災組織の設立	区または複数の区を単位として防災対策を行う組織を設立する際に係る経費に対する補助	世帯割額（世帯数×50円）に均等割額10,000円を加えた額と実支出額とを比較して少ない方の額
防災資機材等の購入	自主防災組織が防災活動を行う上で必要な資機材の購入に係る経費に対する補助	購入金額の4分の3以内の額 限度額 補助初年度 300,000円 次年度以降 50,000円
防災訓練の実施	自主防災組織が防災訓練を行う上で必要な経費に対する補助	世帯割額（世帯数×50円）に均等割額20,000円を加えた額と防災訓練に係る経費の実支出額とを比較して少ない方の額

地区防災計画を作しましょう

地区防災計画とは、災害時に自分たちの「地区」を守るために、日ごろの準備、役割分担、訓練内容などを定めた、自発的で自由な内容の共助の計画です。

地域の災害リスクや人口特性に応じた、共助による避難方法を位置付けるのにふさわしいもので、地区の特性をよく知る住民の皆さんで作成することで、より実情に即した具体的な計画になります。



短期間で完成させることは難しいですが、まずは健康的な加齢者への声掛けなどの、避難支援の役割分担を決めることなどから始めてみましょう。

自主防災組織の設置や訓練を指導します！

自主防災活動において訓練等の指導を希望する団体や、自主防災組織の設立を検討されている団体は、**自主防災組織リーダー養成指導員**の派遣制度をぜひご活用ください。



— 指導内容 —

- ・DIG（災害図上訓練）
- ・HUG（避難所運営ゲーム）
- ・自主防災組織未設置地区を対象とした自主防災組織の意義・役割等の講義 など

詳しくはお問い合わせください。